

# ウスバサイシン

*Asarum sieboldii* Miq.

## ウマノズクサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

### 選定理由

産地がごく限られている。個体数も極めて少ない。(現況:RO)

### 形態

茎の先に2個の葉が偽対生につき、柄は汚紫色で長い。葉は薄く、卵心形で長さ5~8cm、先は急にとがり、基部は深い心形、表面は光沢がない。花は茎の先の2葉柄の間に1個つく。花は淡汚紅紫色で1~1.5cmで、萼裂片は三角状広卵形で先がとがり、縁は外に反り返る。

### 国内分布

本州~九州北部に分布する。

### 県内分布

南加賀区。

### 生態など

小形多年草である。開花期は4~5月。茎は多節、細い根を出す。果実は径13mmあり、種子は長楕円形でしわがある。

### 生育環境

山地のブナ林などの落葉広葉樹林下のやや湿った林床に生える。

### 危険要因

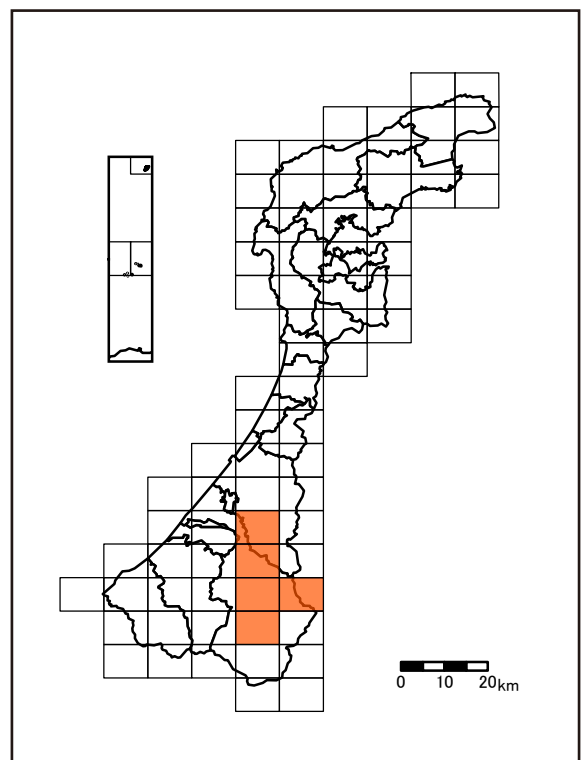
森林伐採、道路工事、園芸採取、自然遷移、産地局限。

### 特記事項

日本固有種。ヒメギフチョウの幼虫の食草となる。



林 二良・2007年5月7日・加賀中央



県内の分布